

特集

小児画像診断の正常変異，偽病変，境界病変， アーチファクト

Normal variants, Pseudolesions, Borderline lesions and
Artifacts in Pediatric Diagnostic Imaging

特集を企画するにあたって

小熊 栄二

埼玉県立小児医療センター 放射線科

Eiji Oguma

Department of Radiology, Saitama Children's Medical Center

成書での画像所見の記載が豊富な典型的疾患については初学者でも比較的診断が容易であるが，正常と疾患の間にたゆたう，不定型な，もやもやとした未開拓地である正常変異から境界病変といった領域は，それに通暁するには相当な経験を要する．初学者の戸惑いや経験者でも小児になじみのない先生にとっては躓きの基となりかねない正常と異常の間に存在するこれらのグレーゾーンを踏み固めるために今回の特集を企画した．

正常変異，偽病変，境界病変，アーチファクト，これら正常から典型的な病的所見の間のグレーゾーンに位置する様々な画像所見について，代表的では是非承知しておくべきものについて，頭部，胸部・心大血管，腹部，骨軟部，核医学と，領域とモダリティ別に，気鋭の先生方によって5編の総説をお纏めいただいた．本特集によって躓きの石のいくつかが確実に取り除かれるものと思われる．